

さの社協だより

Vol.73 | 2023.5.1

編集発行/社会福祉法人 佐野市社会福祉協議会
佐野市大橋町3212-27 ☎(22)8100 FAX(22)8199



<ホームページ><https://www.sanoshakyo.or.jp/> <Eメール>sano-wel@sanoshakyo.or.jp さの社協だより 🔍検索

この笑顔を広げるために
私たちは
活動します!!



佐野市
社会福祉協議会

暮らしやすい
まちづくりを
支援します!!

私たちと一緒に働いてみませんか?

※詳しくは12ページを
ご覧ください。

もくじ

- 2~3ページ 令和5年度事業計画・予算
- 4ページ 寄付報告、社会福祉大会、福祉標語最優秀作品
- 5~7ページ 福祉作文最優秀作品(全文)
- 8ページ 共同募金実績報告、会員会費報告、こども会議
- 9ページ 生活支援体制整備事業の紹介、福祉活動推進員の紹介
- 10ページ ファミサポ年間予定表・会員募集記事、あすてらす
- 11ページ 元気あつぷ教室、心配ごと相談・無料弁護士相談
- 12ページ 職員採用試験(早期試験)のお知らせ、
(仮称)2023佐野市ふくしフェスタ参加者・団体募集

社会福祉協議会とは

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めるために、地域の皆さんやボランティア、保健、福祉、医療、教育等の関係機関などが協力しながら共に考え、実行していく、民間の団体です。社会福祉協議会は通称「社協(しゃきょう)」と呼ばれています。



令和5年度
佐野市社会福祉協議会

事業計画・予算

●事業計画●

1 健やかで元気に暮らせるまちづくり ～地域福祉を支える人づくりと地域福祉活動の支援～

1 福祉意識の向上

- (1)福祉共育の推進
- (2)共同募金運動の推進

2 ボランティア活動の促進(重点目標)

- (1)ボランティア活動の促進・育成
- (2)奉仕員養成研修事業

3 地域福祉活動の支援

- (1)福祉団体活動の支援
- (2)高齢者・介護者の支援
- (3)障がい者の支援
- (4)子育て支援
- (5)地域福祉事業の運営

2 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり ～安全で安心な生活づくり～

1 生活支援の充実(重点目標)

- (1)相談支援の充実
- (2)生活支援サービスの提供

2 福祉サービスの提供

- (1)高齢者福祉サービスの提供
- (2)児童福祉サービスの提供

3 市民参加による自立したまちづくり ～地域共生による地域福祉の基盤づくり～

1 地域共生による福祉活動の推進(重点目標)

- (1)地区社会福祉協議会活動への支援
- (2)ひとり暮らし高齢者等への見守りの充実
- (3)公益的な取り組みの推進

2 地域包括ケアシステムの構築

- (1)地域ネットワークづくりの推進

3 情報の提供

- (1)情報提供の充実

4 市社会福祉協議会の体制づくり

1 地域福祉推進に向けた基盤の強化(重点目標)

- (1)運営体制の強化
- (2)活動計画の推進・評価機関の設置・運営
- (3)第4次佐野市地域福祉活動計画の策定
- (4)財源の確保

○事業計画の取り組み例として・・・



福祉共育の推進

小学校での福祉体験授業の様子



障がい者の支援

障がい者スポーツ交流会の様子



地区社会福祉協議会活動への支援

令和4年度第1回地区社協連絡会議の様子

※法令等に基づくもの、固有名詞を除き、「障がい」と表記しています。

※「共育」(きょういく)…教育・指導を行う側と受ける側が共に学び成長すること。また、多様な立場の人や組織が連携して教育を担うことなどを意味する造語。

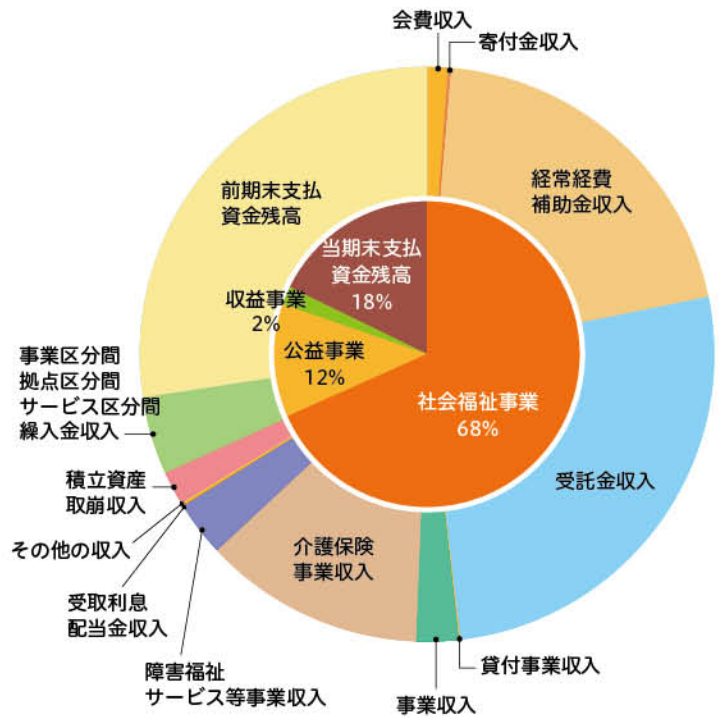
● 資金収支予算

収入 937,000千円

収入

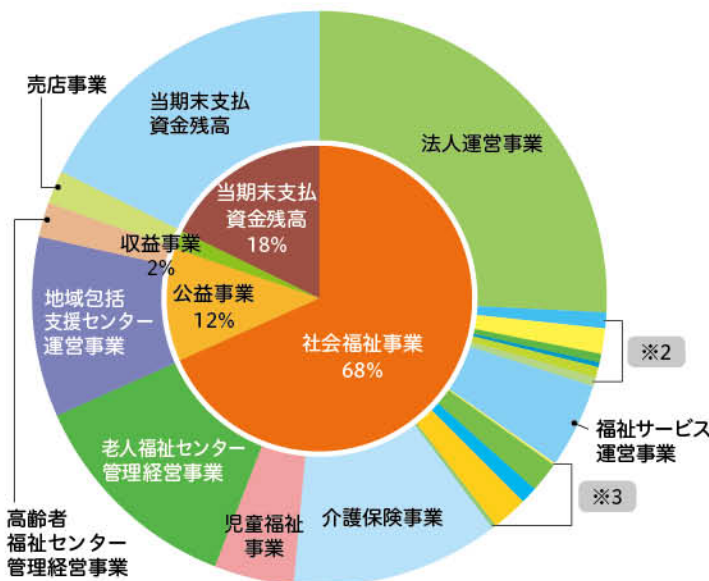
(単位：千円)

勘定科目		本年度予算額
事業活動収入	会費収入	11,003
	寄付金収入	1,760
	経常経費補助金収入	191,635
	受託金収入	246,855
	貸付事業収入	800
	事業収入	22,314
	介護保険事業収入	116,513
	障害福祉サービス等事業収入	29,040
	受取利息配当金収入	804
	その他の収入	335
その他の活動収入	積立資産取崩収入	18,361
	事業区分間繰入金収入	6,092
	拠点区分間繰入金収入	8,197
	サービス区分間繰入金収入	26,600
	前期末支払資金残高	256,691
収入合計		937,000



支出 937,000千円

(単位：千円)



※2 生活支援体制整備事業
 地域福祉推進事業
 調査・広報・啓発事業
 ボランティア活動推進事業
 共同募金配分金事業
 高齢者生きがい活動支援通所事業

※3 小口貸付資金事業
 生活福祉資金貸付事業
 日常生活自立支援事業
 生活困窮者自立相談支援事業
 法人後見事業

支出

事業区分	サービス区分	本年度予算額
社会福祉事業	法人運営事業	241,847
	生活支援体制整備事業	8,429
	地域福祉推進事業	13,326
	調査・広報・啓発事業	4,606
	ボランティア活動推進事業	2,460
	共同募金配分金事業	5,558
	高齢者生きがい活動支援通所事業	4,700
	福祉サービス運営事業	45,396
	小口貸付資金事業	1,110
	生活福祉資金貸付事業	15,906
	日常生活自立支援事業	8,852
	生活困窮者自立相談支援事業	18,893
	法人後見事業	2,106
	介護保険事業	109,890
児童福祉事業	42,016	
老人福祉センター管理経営事業	116,227	
事業公益	地域包括支援センター運営事業	94,923
	高齢者福祉センター管理経営事業	18,153
事業収益	売店事業	17,602
前期末支払資金残高		165,000
支出合計		937,000

ご寄付ありがとうございました

寄付金 (敬称略)

- 佐野シニアソフトボールクラブ 6,020円
- 篠崎建設(株)築幸会 55,705円
- 石山昌良 14,463円
- 里山きり絵の会 23,980円
- 種徳院梅花講員一同 30,000円
- ペルク佐野田沼店お客様一同 48,409円
- 中井龍尊 56,789円
- 佐野市立葛生小学校児童会 20,000円
- 関東西濃運輸労働組合佐野支部 200,000円

寄付物品 (敬称略)

- 長昌寺 ・食品段ボール2箱
- 本光寺 ・食品段ボール9箱
- BBステーション佐野田沼インター店 ・お菓子段ボール2箱
- ピーエスブランド佐野店 ・お菓子段ボール3箱
- 佐藤 勉 ・除菌・消臭剤33本
- 佐野市主任児童委員部会 ・食品段ボール2箱
- 匿名 ・お茶171箱
- 匿名 ・手ぬぐい・タオル110本
- 匿名 ・蛍光灯3本・事務用品1個
- 匿名 ・玄米30kg4袋
- 匿名 ・タオル、毛布、シーツ33箱



※1月1日～3月31日までに寄付された方々です。
 なお、掲載を希望されない方については、掲載しておりません。

受賞

おめでとうございます

2月1日(水)葛生あくとプラザ大ホールにて第18回佐野市社会福祉大会を開催しました。第1部式典では、佐野市長表彰、佐野市社会福祉協議会会長表彰を行いました。本会では、市内小・中学校、義務教育学校等より福祉作文最優秀受賞受賞者4名、市内に在住あるいは、通勤・通学している高校生以上の方より福祉標語最優秀受賞受賞者1名、本会事業推進功労者として1団体他7名、高額寄付者として1団体の表彰を行いました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

第2部は、佐野日本大学短期大学 吉田志保先生に「子どもの虐待と地域の支援」という演題で講演をいただきました。

令和4年度福祉標語募集事業

幅広い年齢層からご応募いただき、ありがとうございました。審査の結果、次の作品を最優秀賞として選出しました。なお、本作品については、今年度本会の福祉啓発活動に使用させていただきます。

最優秀賞

「手から手へ つなぎ広がる 福祉の輪」

上台町 中村 順子 様



令和4年度児童・生徒

福祉作文最優秀作品



市内小・中学校、義務教育学校等の児童生徒の皆さんに、日常生活や学校生活の中で、福祉についての関心を高め、理解を深めることを目的として福祉作文を募集しました。1,341点にも上る応募作品の中から各区分ごとに最優秀作品が選ばれました。(敬称略)

小学校1・2年生の部

わたしのたからもの



城北小学校 一年

飯田 いいた 愛真 えま

「ママ、わたしね、みみがきこえるようになりますたい。」
パパとおふろにはいったあと、ママにかみをかかわしてもらいながら、そんなことをはなしました。ほちようきをつけるのがめんどろだとおもったからです。じつは、わたしはうまれたときからみみがよくきこえません。だから、ほちようきをいつもつけています。しようがくせいになるまで、わたしはだいがくびよういんのリハビリにかよっていました。

げんごちようかくしのせんせいと、いろいろなおとをきいたり、ことばのがくしゅうやもじのよみかきなど、たくさんのことにとりくみました。かよいはじめたころは、リハビリがおわるとへとへとでした。でも、だんだんリハビリもせんせいにあえるのもたのしみになってきました。ママは、リハビリでやってきたことをかならずかぞくみんなにはなします。

「はつおんがわるかったら、ただしくおしえてはなしてね。」

かぞくのちからはすごいです。わたしのはつおんがすこしでもわるいと、ただしいおとをおしえてくれます。わたしができるまでなんかいも。わたしもへこたれずについていきます。ただしくいえたときはたくさんほめてくれるので、がんばろうというきもちになります。

ママは、わたしがしようがくせいになっても、もんだいなくべんきようができて、たのしいがっこうせいいかつがおくれるように、がっこうのせんせいともいろいろなことをそうだんしてくれました。せんせいじゅぎようちゅうにマイクをつかってくると、まわりがすこしうるさくてもはなしをよくきくことができます。ほちようきのでんちこうかんをするときは、わたしがやるところをみまもつてくれます。おともだちは、わたしをたすけてくれます。よくきこえていないときは、かたをトントンとしておしえてくれます。みんなのおかげで、わたしはがっこうがだいすきです。わたしがママに、
「みみがきこえるよになりたい。」
といったとき、ママは、
「ごめんね。くすりをのんでもなおらないんだよ。でも、ほちようきをつけていれば、

みんなのこえがきこえるでしょう。」
と、ほちようきはわたしにとってなくてはならないたいせつなものだとおしえてくれました。みんなとちがうものをつけていて、めんどろくさいとおもうこともあるけれど、みんなのこえやおとをきくためには、ほちようきがひつようです。わたしのたからもの。みんながさえてくれるからだいじようぶ。

「ママ、わたしきこえるよ。がっこうさいこうだよ。」

ほちようきも、かぞくも、おともだちも、せんせいも、みんなわたしのたからものです。



小学校3・4年生の部

身近にある福祉



城北小学校 四年

浅野 あさの 絢大 けんた

社会全体がしあわせになるためには、どのようなことをすればいいのでしょうか。そもそも社会のしあわせとは、どのようなことでしょうか。今の自分にできることはあるのでしょうか。

ぼくは今まで考えたことがなかったので、

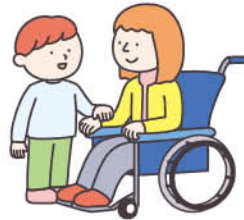
家族に話を聞いてみました。家族は、社会のしあわせのために自分にできることは、周りの困っている人を助けることだと考えていました。それを聞いて、ぼくは周りに困っている人に気付き、何か役に立てることや助けてあげられることがないかと、思いやりの気持ちをもって考えることが大切だと思いました。

ぼくには、なん病で満足に足を動かすことがむずかしいおじさんがいます。ふだん移動するときには、くるまいすを使っています。ぼくはよくおじさんについていき、出かけています。出かけるとき、おじさんは電動車いすを使っていますが、時々手動の車いすに乗っています。ぼくもおじさんの車いすに座って、少しこいでみました。実際に乗ってみると、思っていたよりもうでの力が必要で、なかなか前に進めませんでした。やっとこげたと思っても、今度は方向を変えるのがうまくできません。思うように進めず、しかももうでがとでもつかれてきました。その時ぼくは、ふだん車いすで生活をする人たちのすごさに気付きました。ぼくはこの体験から、車いすに乗っている人を見かけたら助けてあげたいと思いました。困っている人もなかなか助けてと言いつせない人もいると思うので、自分から進んで助けたいです。

今までぼくは、しあわせや福祉という単語があまりよくわかりませんでした。学校の授業で点字や手話を教わり、目や耳が不自由な人とコミュニケーションが取れることを学び、福祉に関心をもりました。学んだあとは、家でも手話の練習をしました。しかし、その時はまだあまり福祉を身近に感じてはいませんでした。今回、家族に話を聞くことで、福祉は自分の身近にあり、おじさんに乗せて

もらった車いすも大へんさを知る福祉体験だったと気付くことができました。「できるときに、できる人が、できることをする。」これがぼくの思う福祉です。ぼくは、困っている人がいたら、知らん顔をしないようにします。困っている人を見かけたら、そっと手を差し伸べたいです。秋には、とちぎ国体が開きいされます。目や耳が不自由な人も参加するので、学校で学んだことが役に立つといいなと思いました。

人によさしい福祉の町づくりを目指して、今日もぼくは思いやりや助け合いの気持ちを大切にしていきます。声をかけ合うことで、親切のりレーがつながっていくように、社会全体が、だれもが明るくしあわせにすごせるようになっていくことをねがっています。



小学校5・6年生の部

手話ってすばらしい



あそ野学園義務教育学校
(前期課程) 六年

かきぬま
柿沼 ひより

「ありがとう」これは、私が初めて覚えた手話です。私が手話と出会ったのは三年生の

時でした。その頃は全く意味も分からず、そこまで興味をもっていませんでした。五年生の時に聴覚障害をもつ友達と出会いました。それから少しずつ手話に興味をもち始めました。国語の教科書に指文字が書いてあるのを見つけ、休み時間に見ながら覚えめました。覚えるまでは難しかったけれど、少しずつ覚えられるようになると、楽しくてがんばることができました。だんだん友達と会話するにつれて、速く、迷わずにできるようになりました。聴覚障害をもっている友達とも、前よりもたくさん色々な話を話せるようになりました。先生の話が聞こえなくて困っている時に、手話で助けてあげられた時は、手話を覚えていて良かったなと思いました。本当は悪い事ですが、授業中にふざけて手話で会話した事もあります。授業で手話をやったり、係活動でみんなに手話を教えたりなどしました。すると、手話を覚えようとする人も増えました。今ではクラスの中でも、指文字を全部覚え、手話で会話している人もたくさん増えました。

以前、先生からこんな話を聞いた事があります。先生になる前、アルバイト先で東日本大震災が起きたそうです。そして、ひなん放送が流れ、みんな逃げている中、一人だけ逃げない人がいたそうです。その人は、聴覚障害をもっている人で、放送が聞こえず、何が起きているのか分からなかったそうです。そこで、先生は手話を知っていたので、手話で伝え、無事その人はひなんできたという話でした。私は、その話を聞いて、とてもすごいなと感動しました。先生が手話を知っていたからその人は無事ひなんできたのだと思います。改めて手話はすばらしいものだと実感しました。



田沼東中学校 二年

中村 美波

私が中学一年生のとき、認知症についての

認知症の人とのコミュニケーション

中学生の部

世の中には音の無い世界で生きている人がたくさんいるそうです。私には音の無い世界は想像もつきません。当たり前のように友達と話したり、当たり前のように歌を聞いたり、当たり前のように風の音を聞いたり、何一つ不自由なく生活できているけれど、この音が聞こえないと思うと、私は生活できるかとても不安です。だから、耳の聞こえない友達とは、どんな気持ちで生活しているのかも分かりません。こわくないのだろうか、さびしくないのだろうか。でも、きっとそのこわさをやわらげるために手話があります。いつかこの覚えた手話で人の役に立つ時が来たら、迷わず力になりたいと思います。

この先何があるか分かりません。将来、困っている人がいたら自分から声をかけられるような人になりたいです。そして、手話を通して笑顔でいっぱいになりたいです。



講話を聞きました。講話をしに来てくださった先生は、認知症はどういうものなのか、認知症の人とどのように接したらよいか、詳しく教えてくださいました。そこで、認知症になると、色々な体の機能に障害が起こることを学ぶことができました。私は、認知症の人が新しいことを覚えられなかったり、すぐに忘れてしまう、ということを知っていましたけれど、考えるスピードが遅くなる、二つ以上のことが重なる、理解できなくなってしまう、ということとは初めて知りました。特に自信を失くしたり、すべてが面倒になったりと、心にも影響が出るというのが驚きで、印象に残ったのを覚えています。

私は、老人ホームにいた祖父のことを思い出しました。今は亡き祖父は認知症でした。会いに行くと名前を覚えてあげても、私のことを分かってもらえないことが多くて、悲しくなったりも多々ありました。でも、少しでも会話を続けたり、話をしたり聞いているうちに、私を思い出してくれることがありました。そのときは、とても嬉しかったです。

また、老人ホームに行くと、祖父を含む、お年寄りが集まって楽しそうに、音楽に合わせて見よう見まねでやっていると、何人かのお年寄りがニコニコしながらこつちを向いています。私は何だか嬉しくなりました。祖父も嬉しそうにしていました。会話をしなくても、心が通じあえた気がしました。

講話の中で、「認知症の人は何もわからないう話がありました。確かにそうだなと感じます。自分がなにかおかしいということも気づいているそうです。私だったら、すごく不安で心細くなると思います。大切な人や、ま

たは身近な人を思い出せなくなったり、忘れてしまったりするのはとても辛いと思います。また、他にも、認知症の人にしか分からない苦しみがたくさんあるのです。私は、認知症の人がなにか失敗したときに、ひとつずつ丁寧に説明することが大切であると思います。そして、感情的に怒鳴ったり責めたりしないで、優しく「大丈夫だよ」と声をかけてあげることが大切だと改めて感じました。少しでもその言葉で、心細さや不安を取り除ければいいなと思います。さりげなく、適切な手助けを行えば、心の負担も減り、心の症状の改善につながります。お年寄りが増えつつあるこの世の中で、一人でも多くの人が、認知症の人それぞれが抱える辛さを理解してほしいなと思います。

私は、認知症の人それぞれが抱える苦しみや辛さをしっかり理解してあげたいです。そして、さりげなく手助けを行い、温かく受け入れることができる、良い「認知症サポーター」になりたいです。



ここに掲載した4作品のほか、優秀賞14作品を掲載した作品集「青空」を発行しました。市内小・中学校、義務教育学校等をはじめ、図書館・地区公民館等に配布しました。また、本会ホームページにも掲載しております。
(<https://www.sanoshakyo.or.jp>)でご覧下さい。

令和4年度 赤い羽根共同募金運動実績額

募金総額 **10,814,037 円**

募 金 内 訳

募 金 内 訳		
戸別募金	世帯	6,124,971 円
法人募金	法人・企業・商店	2,500,385 円
学校募金	小・中学校・義務教育学校・高校・短大など	369,463 円
職域募金	金融機関・市役所など	585,247 円
その他	街頭募金・イベント・募金箱など	1,233,971 円



皆様からたくさんの
善意をいただきました。
ご協力ありがとうございました。
ございました。

運動期間：10月1日～12月31日

募金は佐野市や栃木県内の子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動に役立てられています。また、被災地でのボランティア活動を支援するため、募金額の3%を「災害等準備金」として積み立てています。

令和4年度 佐野市社会福祉協議会会員募集

ご協力ありがとうございました

会費の種類	実 績 額	備 考
普通会員	6,327,870 円	世帯を対象
賛助会員	1,120,000 円	個人を対象
特別会員	3,241,000 円	法人・団体等を対象
合 計	10,688,870 円	



※特別会員（5,000円以上）令和5年1月6日以降にご入会いただきました法人・福祉施設や団体等の皆様のお名前を掲載しております。（なお、掲載を希望されない場合もあります。）

佐野日本大学短期大学の
佐藤佳子准教授と短大生のご協力のもと、
活発な意見が出されました。



3月11日（土）佐野日本大学短期
大学にて、こども会議を開催しまし
た。佐野市及び佐野市社会福祉協議
会で協働し策定する「第4期佐野市
地域福祉計画・第4次佐野市地域福
祉活動計画」に未来の佐野市をつく
るこどもの声を計画に反映するため
に、市内小・中学校、義務教育学校
から28名が参加しました。

を開催しました

こども会議



生活支援コーディネーターが 地域づくりのお手伝いをします!



佐野市社会福祉協議会では佐野市から「生活支援体制整備事業」を受託し、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう、生活支援コーディネーターを配置して取り組みを推進しています。

生活支援コーディネーターとは?

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的として、地域における生活支援等の※**支え合い活動**を促進していくため、地域に出向き、相談支援を行う調整役です。

※支え合い活動とは、

居場所づくり：サロン活動や健康づくり活動等

生活支援活動：ゴミ出しや片付け、外出支援等 などの地域住民同士が、参加し合っている活動です。

こんな活動をしています!

- ・ 地域の情報（福祉サービスや支え合い活動等）を集めます
- ・ 地域の情報（福祉サービスや支え合い活動等）を伝えます
- ・ 地域活動（居場所づくりや生活支援活動等）を支援します
- ・ 担い手（ボランティア等）の育成をします
- ・ 地域に必要な資源（課題解決のためのサービス等）を創出します

みなさんの「困ったな」ということや「こんな助け合いをやっているよ」、「こんなお手伝いができるよ」など、ぜひ情報をお寄せください!

また、みなさんの地域で、地域での取り組みに関する話し合いの場がありましたら、ぜひ生活支援コーディネーターをお誘いください!!

!! よろしくお願ひします!!



お問い合わせ先

地域福祉推進係
生活支援コーディネーター
齋藤

☎ (86) 8844

こんにちは、福祉活動推進員です。

よろしく
お願ひします!

地域における福祉活動の活性化を図るため、福祉活動推進員を3名配置しています。

住民に近い関係で、住民の方の暮らしや地域の支えあいの状況を聞き取りするなど情報収集し、生活支援コーディネーターとも連携をしながら、地域の福祉活動に必要なことをいっしょに探したり、考えていきます。

皆様の集まりの場や交流の場にお邪魔してお話を伺うことがあると思いますので、その時は、お気軽に色々なお話をお聞かせください。

お問い合わせ先

地域福祉推進係 ☎ (22) 8136



左から糸井推進員、片柳推進員、廣瀬推進員

(ファミリー・サポート・センター)

ファミサポ会員大募集中！子育て応援します

子育てで困っている方はいませんか？

ファミリーサポートセンターでは子育てのお手伝いをさせていただきます



子育ての応援をしてみませんか？

こんな方にぴったりです

会員となって一緒に活動してみませんか？



講習会のようす



ハープ奏者 永山友美子さん

★ 講習会・交流会のお知らせ

皆様のご参加をお待ちしています

会員以外の方も参加できます。

会場：佐野市総合福祉センター 2階会議室

期 日	時 間	内 容
6月14日(水)	午前10時～11時10分	「子ども4人 仕事も育児も奮闘中!! さよなら孤独な育児生活～」 1級鉄筋施工技能士 齋藤 絵理さん
7月26日(水)	午前10時～11時30分	会員交流会 ～さのまるといっしょに楽しくおどりましょう～ 音楽健康指導士 元佐野小学校長 元旗川幼稚園長 稲垣佳代子さん
8月23日(水)	午前 9時～正午	※普通救命講習Ⅲ (小児・乳児に対する応急手当) 【会員対象】 佐野市消防本部職員
10月18日(水)	午後 2時～ 3時	ヒヤリハット研修 あさぬま保育園保育士長 川崎美幸さん たぬま保育園保育士長 寺内美樹さん
11月22日(水)	午前10時～11時30分	「食育について【食生活に欠かせないポイントをわかりやすく解説!】 楽しく学べるドナルドショー」
令和6年 1月24日(水)	午前10時～11時30分	～アンデスの風にのって～「南米の縦笛 -ケーナコンサート-」 MOKURENの皆さん

お気軽にファミサポまでご連絡下さい。

申込・問合せ

ファミリー・サポート・センターさの ☎ (22) 0115


あすてらす(日常生活自立支援事業)の紹介

高齢の方、障がいのある方が安心して生活できるよう、日常的な金銭管理等のお手伝いをします。なお、利用にあたっては、契約を結ぶ必要があるため、**契約能力のある方が対象**となります。

- ★サービス内容
 - 福祉サービス利用援助
 - 福祉サービスの情報提供
 - 日常的な金銭管理
 - ・預貯金の入金や払い戻し、医療費、公共料金等の支払いの代行等
 - 書類等の預かり
 - ・預貯金通帳や年金証書、印鑑等の保管等
- ★利用料
 - ①相談から契約まで 無料
 - ②福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理 1回 (おおむね1時間) 1,000円
 - ③書類等の預かり 月額500円

▼問合せ
とちぎ権利擁護センター
「あすてらす さの」
佐野市大橋町3212-27
(総合福祉センター内)
☎(21) 5330

頭も!体も!元気あっふ教室
 — 超高齢社会も怖くない —
 介護に関するミニ知識と簡単にできる体操などの講座を開催します。お気軽にご参加ください。

期日	1. ミニ知識や介護予防体操	2. 茶話会及び高齢者相談会
5月16日(火)	ハツラツ元気体操&かみかみ百歳体操	 気軽に質問相談 ※1回の受講でも参加できます。
6月13日(火)	認知症サポーター養成講座(右側の記載内容)	
7月11日(火)	～柔道整復師に学ぶ～「転ばぬ先の優しい筋トレ」講座	
8月8日(火)	～通所型・訪問型サービスの活用～生活機能低下を防ぎましょう	

※新型コロナウイルス感染の状況により、中止になる場合があります。

- 2. 会場 佐野市総合福祉センター 2階会議室
- 3. 時間 午後1時30分～2時30分
- 4. 定員 各回20人(申込順)
- 5. 申込期限 開催日の3日前(土日祝日除く)まで
- 6. 申込・問合せ 地域包括支援センターさの社協 ☎(22)8129

～認知症について学び、地域で支え合いましょう～

認知症サポーター養成講座 受講者募集

- 期日 6月13日(火)
- 時間 午後1時30分～3時
- 会場 佐野市総合福祉センター 2階会議室
- 内容 認知症とは認知症の方への対応
- 定員 20人
- 受講料 無料
- 申込期限 6月9日(金)まで
- 申込・問合せ 地域包括支援センターさの社協 ☎(22)8129



受講された方にはサポーターの証「認知症サポーターカード」をお渡しします。

「認知症サポーター」は、何か特別なことをする人たちではありません。認知症を正しく理解し対応方法を学ぶことで、認知症になっても安心して地域で暮らせるよう、そっと見守り、応援する人です。

心配ごと相談

常設相談 月～金 午前8時30分～午後5時
 下記の窓口で常時実施しています。

佐野本所 (生活支援係)	佐野市大橋町3212-27	佐野市総合福祉センター内	☎(22)8126
田沼支所	佐野市戸奈良町1-1	田沼中央公民館内	☎(61)1139
葛生支所	佐野市あくど町3084	葛生あくど保健センター内	☎(86)2940

弁護士による無料相談 (予約制)

- 開催日 5月2日(火) ≫ 6月6日(火) ≫ 7月4日(火) ≫ 8月1日(火)
- 令和5年 9月5日(火) ≫ 10月3日(火) ≫ 11月7日(火) ≫ 12月5日(火)
- 令和6年 1月5日(金) ≫ 2月6日(火) ≫ 3月5日(火)

- 時間 午後1時30分～3時30分(1回相談につき15分程度)
- 会場 田沼中央公民館 2階会議室 他
- 予約 田沼支所 ☎(61)1139 ※事前にご予約ください。





社会福祉法人 佐野市社会福祉協議会

職員採用試験 早期試験のお知らせ

地域福祉の推進に
意欲と熱意
のある方を
募集します。

試験区分	採用予定人員	業務内容	受験資格
一般	若干名	佐野市 社会福祉協議会 の業務全般	・昭和63年4月2日以降に生まれた方で、普通自動車免許を有する方
社会福祉士	若干名		・昭和53年4月2日以降に生まれた方で、社会福祉士の資格を有し、普通自動車免許を有する方
主任介護支援専門員	若干名		・昭和53年4月2日以降に生まれた方で、主任介護支援専門員の資格を有し、普通自動車免許を有する方

●試験日・会場

【第1次試験】6月24日(土)
 <<適性検査・教養試験>>
 佐野市総合福祉センター(大橋町)で行います。
【第2次試験】
 <<小論文、口述試験>>
 詳しくは、第1次試験合格者に文書で通知します。

●試験案内・受験申込書配布場所

本会ホームページ(<https://www.sanoshakyo.or.jp/>)からダウンロードしてください。
 佐野市総合福祉センター(大橋町)、田沼支所(田沼中央公民館内)、葛生支所(葛生あくど保健センター内)でも配布いたします。

●採用の時期

令和5年9月1日採用予定

●申込方法

下記申込先に持参または、郵送で「社協職員受験申込」と朱記し、簡易書留等確実な方法でお送りください。
 ※受験票の送付に使用しますので84円切手を添付してください。

●申込先

〒327-0003 佐野市大橋町3212番地27
 佐野市総合福祉センター内
 社会福祉法人 佐野市社会福祉協議会
 総務福祉課法人経営係 ☎(22)8100

●受付期間

5月1日(月)～5月31日(水)(当日消印有効)
 ※詳しくは、職員採用試験案内をご覧ください。

募集期限
5月31日(水)

詳しくは、電話または窓口までお問い合わせください。
 地域福祉推進係 ☎(22)8136

(仮称)
2023

佐野市ふくしフェスタ
 参加者・参加団体募集

日時
10月22日(日) 午前10時～

会場
佐野市総合福祉センター及びその周辺
(佐野市大橋町)

内容
「ふくしに関する活動」について、参加団体が普段の活動を展示や体験を通して、地域の人たちに紹介する。

※詳しい内容は今後、参加者・参加団体で構成する会議で決定していきます。

募集対象
市内で活動している、福祉団体やボランティア団体等
 市内で、「SDGs」や「社会貢献」に関する活動を行っている企業等
 運営をお手伝いしてくれるボランティアの方
 ※飲食の提供については、通常の活動で、飲み物や食品の提供または販売を行っている団体のみ、調理食事に
 ついては、営業許可を取っている団体のみ可能。




ふくしコミュニティの発信!!
 一緒に支え合いのまちづくりしませんか?